

今年も工場見学に来てくださいました！

—高松市立国分寺南部小学校 第4学年の皆様—

10月10日（火）、高松市立国分寺南部小学校 第4学年皆さんが
国分寺工場に見学に来られました。

アルミ缶とスチール缶を磁石を用いた特殊な機械で選別する様子や
ペットボトルの中の飲み残しを手作業で出す様子などを見ていただきました。

ペットボトルのリサイクルで作った繊維を見ていただいた際には、
「ペットボトルがこれ（繊維）になる意味がわからん！」という声も
上がり、食い入るように見つめる様子が印象的でした。ちなみに、
この繊維は衣類や断熱材、シートベルトなどに生まれ変わります。



また、質問の時間にはたくさんの方が挙がり、時間が足りないほどでした。

「アルミ缶やペットボトルは圧縮していないのに、なぜスチール缶だけ圧縮しているのですか？」
や「高松市の収集車に3人乗っている理由は何ですか？」など、目の付け所の鋭さに
感心しっぱなしでした。



そして、

「これからゴミの無い社会にしていけるとおもいますか？」
という質問もいただきました。

—ゴミの無い社会—

実現は難しいのでは？と思った方もいるかもしれません。

しかし、中身を空にして正しく分別してから決められた収集日に出せば、
リサイクル率はほぼ100%になります。



ゴミの無い社会を実現させるために、リサイクルに出す前に改めて確認してみましょう。

- ✓ 飲み残しや食べ残しなど、資源ゴミ以外のものが混ざっていませんか？
- ✓ 空き缶などを灰皿やゴミ箱代わりにしていませんか？
- ✓ 収集日は合っていますか？

私たち一人ひとりのちょっとした心掛けによって、
ただの「ゴミ」が「資源」へと生まれ変わることができます。

国分寺南部小学校の皆さん、ありがとうございました。

